



平成29年9月1日
中村河川国道事務所

『一般国道56号 ^{さが おおがた}佐賀大方道路』で
初めての測量・調査立入説明会を開催します！
～「四国8の字ネットワーク」の延伸に向けて～

平成29年度に新規事業化となりました佐賀大方道路について、このたび、事業化後初めてとなる測量・調査立入説明会を平成29年9月19日より順次開催します。

※開催日時及び場所については、別紙を参照下さい。

佐賀大方道路とは

■四国の高速道路ネットワークである「四国8の字ネットワーク」の一部を構成する、
くろしおちょうさが黒潮町佐賀(仮称佐賀IC)からくろしおちょういりの黒潮町入野(仮称大方IC)間の延長14.0kmの自動車専用道路です。

※ 本施策は、四国圏広域地方計画「No.1南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への『支国』防災力向上プロジェクト」及び「No.5 地域の自立的・持続的発展に向けた『資国』産業競争力強化プロジェクト」等の取組に該当します。

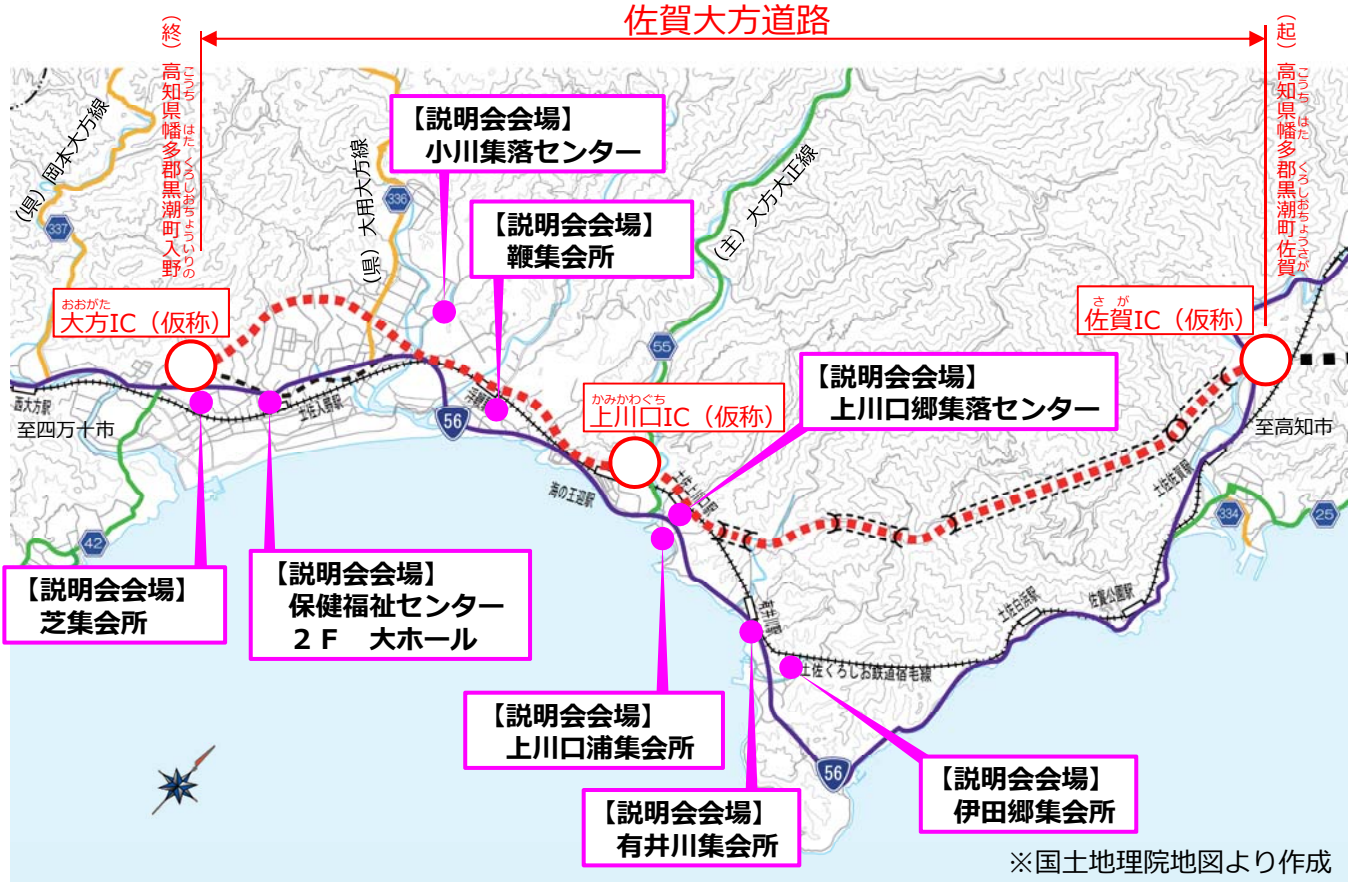
お問い合わせ先(○:主な問い合わせ先)

・国土交通省四国地方整備局 中村河川国道事務所

副所長 川崎 光洋(かわさき こうひろ) 電話0880-34-7301(代表)(内線205)

○調査課長 小竹 良(こたけ りょう) 電話0880-34-7307(調査課)(内線451)

佐賀大方道路 測量・調査立入説明会 各地区・会場位置図



地区名	日時	場所	住所
おがわ 小川	平成29年9月19日 (火) 19:00~	おがわ 小川集落センター	はたぐんくろしおちようかもち 幡多郡黒潮町加持121-3
かみかわぐちうら 上川口浦	平成29年9月20日 (水) 19:00~	かみかわぐちうら 上川口浦集会所	はたぐんくろしおちようかみかわぐち 幡多郡黒潮町上川口733-8
かみかわぐちごう 上川口郷	平成29年9月21日 (木) 19:00~	かみかわぐちごう 上川口郷集落センター	はたぐんくろしおちようかみかわぐち 幡多郡黒潮町上川口885-8
いだごう 伊田郷	平成29年9月24日 (日) 18:30~	いだごう 伊田郷集会所	はたぐんくろしおちよういだ 幡多郡黒潮町伊田871-1
しば 芝	平成29年9月25日 (月) 19:00~	しば 芝集会所	はたぐんくろしおちよういりの 幡多郡黒潮町入野1196-1
はやざき 早咲、浜の宮、 まち 万行、 いりのほんむら 入野本村、 にしきの 錦野	平成29年9月26日 (火) 19:00~	保健福祉センター 2F 大ホール	はたぐんくろしおちよういりの 幡多郡黒潮町入野2017-1
ありがわ 有井川	平成29年9月27日 (水) 19:00~	ありがわ 有井川集会所	はたぐんくろしおちようありがわ 幡多郡黒潮町有井川1809-1
うきつ ぶち 浮津、鞭	平成29年9月28日 (木) 19:00~	ぶち 鞭集会所	はたぐんくろしおちよううきつ 幡多郡黒潮町浮鞭1944-1

一般国道56号 佐賀大方道路

● 事業の進め方

①事業化

今回の地元説明会

②地元説明(測量・調査立入説明会)

測量等の実施内容の説明および現地立入の
お願いをします。

③測量・調査

設計に必要な測量や地質調査等を実施します。

④設計

測量や地質調査のデータを基に、道路構造や水路、付替道路等の設計を行います。

⑤設計協議

道路構造を説明するとともに、水路、付替道路等の構造について協議します。

⑥用地幅杭打設

道路の建設に必要な幅を示す杭を現地に打設します。

⑦境界立会

民々境界、官民境界を現地にて立会します。

⑧用地測量調査

丈量測量、建物、工作物、立木、その他補償対象物件の調査をします。

⑨用地補償協議

用地測量調査に基づき土地価格、建物等の補償について協議します。

⑩用地契約

協議成立箇所について、土地、建物等の売買契約をします。

⑪工事

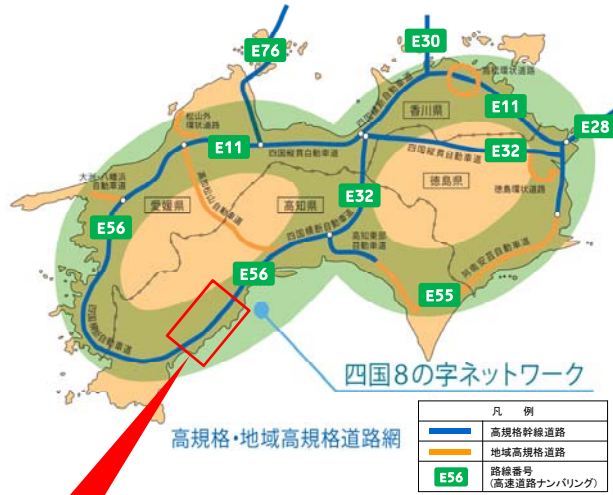
用地にご協力いただいた箇所から工事に着手します。

⑫開通

一般国道56号 佐賀大方道路

● 計画の概要

事業名	一般国道56号佐賀大方道路
区間	高知県幡多郡黒潮町佐賀 ～高知県幡多郡黒潮町入野
延長	14.0km
構造規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	2車線(自動車専用道路)
標準幅員	12.0m



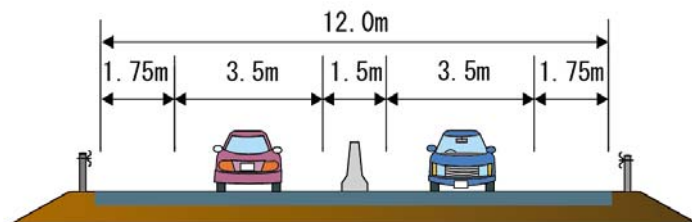
● 事業の経緯等

平成29年1月27日：都市計画決定
平成29年度：事業着手

佐賀大方道路拡大図



● 標準断面図

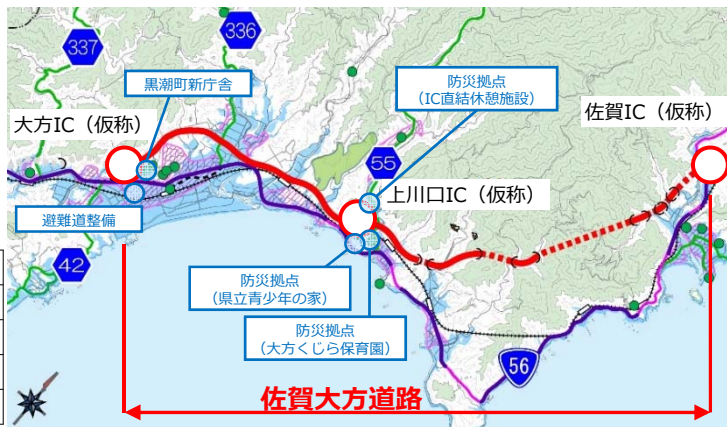


一般国道56号 佐賀大方道路

整備効果①

防災機能の強化と災害に強いまちづくりを支援

- ▶ 南海トラフ地震等の災害時に、津波浸水しない高さを確保した佐賀大方道路により、円滑な救援活動・物資輸送に寄与します。
- ▶ 避難道整備や高台に移転する黒潮町新庁舎、防災拠点などと連携して防災を踏まえたまちづくりに寄与します。



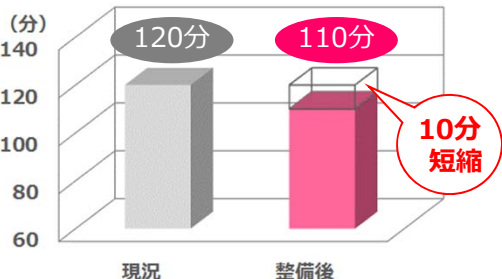
凡 例			
	佐賀大方道路		防災拠点施設
	一般国道(直轄国道)		津波浸水予測域
	津波浸水予測区間(R56)		市街地・集落
	県道		標高100m以上エリア

整備効果②

周遊観光・地域産業促進による高知県西部の活性化

- ▶ 高知市周辺や高知龍馬空港から、幡多地域の観光地や漁港等への移動時間を短縮し、定時性を確保することで、地域経済活動の活性化が期待されます。

■ 高知龍馬空港から四万十市への所要時間



整備効果③

安全安心な高次医療施設へのアクセス

- ▶ 佐賀大方道路の整備により、高次医療施設への60分圏域が拡大し、高幡地域南部へのカバー率が増加します。

高幡地域南部の高次医療施設への60分圏域人口
【現況】約1.4万人
→ 【整備後】約1.8万人

- ▶ 高幡地域南部から高次医療施設への搬送時間短縮や安静搬送により、患者への負担を軽減します。

国道56号(佐賀～入野)のR<150mカーブ区間
【現況】31箇所(国道56号)
→ 【整備後】0箇所(佐賀大方道路)

